

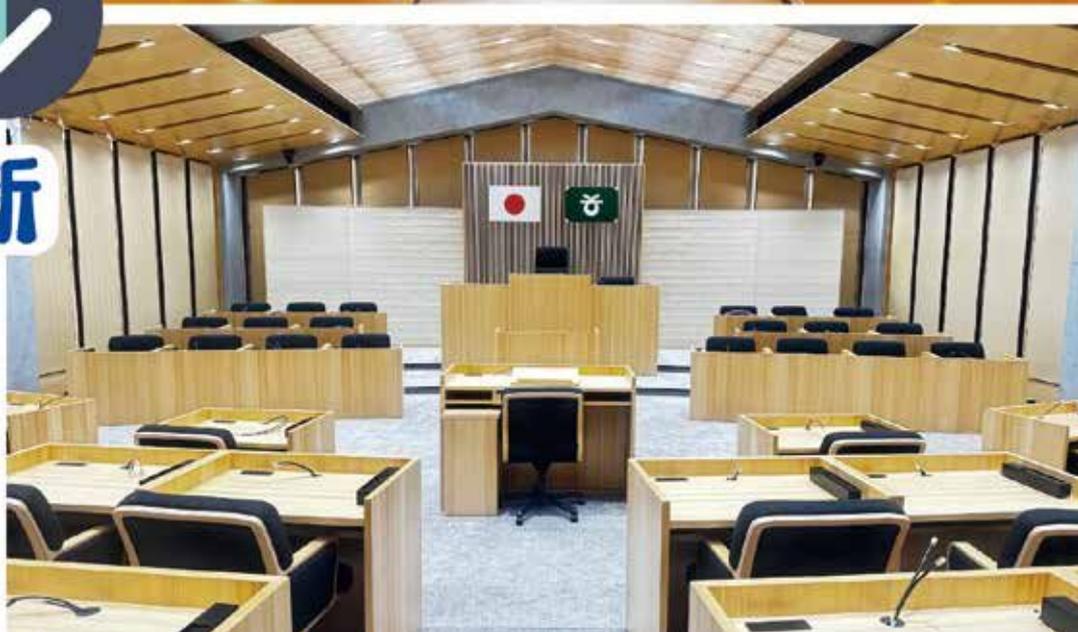
議会だより



旧



新



6月定例会市議会の予定

日程	内容
6月6日(金)	開会
6月12日(木)	一般質問
6月13日(金)	一般質問
6月16日(月)	一般質問
6月17日(火)	一般質問・質疑
6月18日(水)	委員会
6月19日(木)	委員会
6月20日(金)	委員会
6月25日(水)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集①	議会運営委員会	行政視察レポート	2ページ
特集②	文教福祉委員会	えがお・きらり視察レポート	3ページ
特集③	総務生活委員会	市内現地視察	4ページ
主な内容		2月定例会市議会	5ページ
		一般質問	7ページ
		委員会活動報告	13ページ
特集④	議員向けハラスメント防止研修を開催		16ページ

議会運営委員会は令和7年1月29日・30日に行政視察を行いました。

滋賀県草津市議会

委員会代表質問は、個人一般質問や会派代表質問よりも上位の重みのある提言へとつながることが期待できるとのことです。令和4年11月から検討に入っていました。委員会で所管事務調査はゴール(提案・提言)をどこに持つていくかを考える必要があり、あくまでも委員会代表質問ありきではなく、調査項目を長期的または短期的に整理し、調査の精度に応じて委員会代表質問を実施すれば有効なものになるということです。

文教厚生委員会と産業建設委員会で令和6年に委員会代表質問を行っており、明快な答弁とそうでないものもあつたようです。委員会内で問題の共通認識を持てたことは良かったとのこと。委員会代表質問を行う議員の同会期中の

会派代表質問および一般質問は妨げないものとなっています。大規模災害時行動要領は、地域防災計画と特に新型インフルエンザ等対策行動計画を定義していました。災害対応の議会組織として年一回以上、防災訓練と要領の見直しを行っており、議員の安否確認はビジネスチャットを利用。

令和6年にシェイクアウト訓練を実施(執行部と合同)。コロナ禍や災害発生時に議場へ参集できないことを想定し、オンライン会議システム(ZOOM)を活用して会議を試験的に行っていました。



滋賀県草津市議会

三重県四日市市議会

通年議会は定例会を5月中旬〜翌年4月末までを1年1回として会期を通年にしているものです。専決処分を行っていた議決事件は議長権限で緊急議会として審議し、開会議会、定例会議会、緊急議会、閉会議会があるとのことでした。

政策サイクルについては、平成12年に市政活性化推進等議員懇談会を設置しましたが、これを議員政策研究会に改編しました。これは全議員が一堂に会し意見交換を行っており、設置については毎年度当初に各会派にテーマを募って調査研究を行うテーマを全体会で決め、分科会を設置しています。分科会として報告書をまとめ、特別委員会設置を議長に申し入れることもあり、市長への政策提言や条例等の改正にもつなげています。月議会中でも決算議会では一般質問より、決算常任委員

会と分科会の日程を先に組んでいます。(来年度予算への議会意思を早期に市長部局に伝えるため)



三重県四日市市議会

・草津市での委員会代表質問では委員の意識統一が問題であり、大規模災害時行動要領は、総社市議会は安否確認のみなので、訓練、コロナやインフルエンザ等によるパンデミックに対応することも想定する必要があります。
 ・四日市市での通年議会は議員としての行動が制限される可能性があり、政策サイクルについては、議員の資質向上に非常に価値的なものと感じました。(岡崎 亨一)

文教福祉委員会 市内現地視察

総社市地食べ学校給食センター

えがお



令和6年11月28日(木)に文教福祉委員会で現地視察を行いました。同年10月に千葉県匝瑳市へ学校給食についての視察から、本市の取り組みについて、実際に給食をいただき、栄養士からの説明の後、委員から質疑を行いました。子どもたちに様々な食材や料理と出会ってもらうことが食育でもあるということ、昨今、食材費の高騰や野菜等の生育不足が叫ばれる中、給食センターの職員は市内の幼稚園、小学校、中学校の皆さんのために美味しい給食を届けるためのたゆまぬ努力をしていました。

総社市特別支援教育推進センター

きらり



令和7年2月10日(月)に特別支援教育推進センターの現地視察を行いました。同センターは総社小学校内にあり、当日行われていた5つの指導教室を見学しました。幼児通級指導では体の動かし方を基本とした指導を、言語通級指導では口の動かし方から言葉の促し、情緒通級指導では遊びも交えた多様な指導を行っていました。令和8年度からは通級指導教室と療育が併用可能となることから、さらにニーズが増えてくる可能性もあり、療育機関との連携も重要になってくると思われます。(山名 正晃)

市役所新庁舎内現地視察

総務生活委員会では、令和7年2月21日(金)に市役所新庁舎、新議会議場を庁舎完成(2月28日金曜日)に先駆けて内部の現地視察を実施しました。新庁舎は、展望台を含め一部8階建てとなり、新議会議場は4階建てとなります。●庁舎棟1階は、ワンストップフロア総合窓口となり、ワンストップ課、税務課、福祉課、こども夢づくり課、こども課、会計課、日本一優しい市役所推進課。2階は、総社市社会福祉協議会。3階は、教育総務課、健康増進課、長



議員席から議長席

寿介護課、水道課、下水道課、総社の水お客様センター、環境課、人権・まちづくり課、交通政策課、学校教育課、部活動改革推進室。4階は、職員課、総務課、危機管理課、ふるさと納税推進課、人口増進課、政策調整課、秘書室。5階は、生涯学習課、スポーツ振興課、企業誘致商工振興課、文化財課、観光プロジェクト課、農林課、農業委員会事務局、地域応援課、土木課、都市計画課、建築住宅課。6階は、監査事務局、選挙管理委員会事務局、デジタル推進課、財政課、契約検査課、



議長席から議員席

財産管理課。8階は、展望口ビー(総社市中心部が360度パノラマで見れます)●議会議場1階は、チュッピーホール。2階は、議会事務局、議員執務室。3階は、議場・委員会室となります。議場北側には、豪溪紅葉をイメージした、もみじを植樹された中庭があります。新しくなった議場は、6月定例会市議会より使用します。議員たちのこれからの議論を、是非議場にお越しいただき傍聴していただけたらと思います。



傍聴席から議場全体

市内JR駅構内トイレ施設現地視察

令和7年2月21日(金)に市内JR駅(服部・東総社・清音・豪溪・日羽・美袋)構内トイレ施設の現地視察を実施しました。将来、1日の平均乗車数が少ないJR駅では、駅構内からトイレ施設がなくなるので現状を視察しました。

現在、市内に7駅ある中、豪溪駅のみトイレ施設を廃止しており、当駅を利用されている方は、駅前にある事業所等のトイレを借りています。この現状について事業所や駅利用者から豪溪駅にトイレ施設を再建していただきたいとの相談、依頼を受けており、市としてJRと協議し、市独自でトイレの設置を考えていかなければならないと思いました。

(森安 健一)

Table with 2 columns: 個人市民税, 法人市民税, 固定資産税, etc. Total 21 billion 4,950 million yen.

□主な財源は左表の通り。

一般会計歳入

2月定例会市議会が2月25日に開会し、報告4件、承認1件、議案34件、同意2件、意見1件、陳情2件、議員発議5件を審査し3月21日に閉会しました。

令和7年度予算

一般会計350億7千9百70万円、特別会計155億7百70万円、企業会計63億7130万円、計569億5730万円を賛成多数で可決しました。

一般会計歳出

総合的な政策関連としてふるさと納税に係る経費6億2640万円、吉備路マラソン大会共催負担金3千6百万円。□子育て支援・教育関連として放課後児童クラブの設置・施設指定管理等の委託料5億5550万円、私立保育所等施設整備事業補助金1億9590万円、認可外保育施設への補助金2550万円、つどいの広場事業運営委託料4千4百万円、妊婦のための支援給付金5千5百万円、産後支援事業2820万円、移動水泳授業に係る経費390万円。□医療・福祉関連として障がい者基幹相談支援センター事業委託料2490万円、総社市版ライドシェア経費240万円、雪舟くん運行委託料7470万円。□環境・衛生関連として飼いのいない猫の不妊去勢手術費補助金百万円。□農林業・商工観光関連とし

て農業振興地域整備計画策定委託料1190万円、プレミアム付商品券事業10億千9百万円、観光プロジェクト実行委員会負担金のうち赤米関連1730万円。□土木関連として地域力向上道づくり事業1億3千万円、東総社駅前泉本線改良事業2億2310万円、(仮称)神在秦本線改良事業1億4750万円、公共下水道事業補助金4億340万円。□消防・災害対策関連として消防指令・無線システム整備委託料9億1810万円。

国民宿舎特別会計

□主な歳出として指定管理委託料4億9千6百万円、大規模修繕工事に係る経費3億8950万円、主な歳入として営業収入4億3千万円、一般会計繰入金1億810万円、事業債3億9190万円。

令和7年度予算以外の議案

□公私連携保育法人が公私連携型保育所で保育等を行うた

め、財産(公設民営中央保育所)を譲渡し貸し付ける議案を可決。□災害対策関連としてトイレカーの購入及びその経費3230万円の補正予算案を可決。□同意・意見 □政策監に難波敏文氏(再任)を任命することに同意。□監査委員に風早俊昭氏(再任)を選任することに同意。□人権擁護委員候補者に渡邊智光氏を推薦する意見に同意。□陳情 □準用河川国府川改修の早期事業化に関する陳情を趣旨採択、ほか1件を採択。□議員発議 □総社市議会会議規則ほか3件の一部改正案と、1件の制定案を可決。 □総社市選挙管理委員会及び補充員の選挙 □選挙管理委員4名、補充員4名を指名選挙により選出。 ※全ての採決結果、賛否状況は次ページに掲載

問 北朝鮮による日本人拉致問題の捉え方はどうか。また今後の取り組みはどうか

答 被害者・ご家族に対し断腸の思いだ。経緯も含め市民に広く広めていきたい



満手 宣良

北朝鮮による日本人拉致問題について

問 今後は総社市でも啓発し、人権問題として取り組む気があるか。

市長 対岸の火事のような意識ではいけない。啓発活動をしていく。人権問題としても真剣に取り組んでいく。

道路諸問題について

問 土木担当員や学校、住民からの要望や通報を待つのではなく、市側がもっと積極的に道路等の修繕や改善を提案・実施しても良いと思うが見解はどうか。

市長 土木担当員や学校・地元住民の声を大切にするのは当然だが、もっと市側が積極的に提案や実施をすべきと思う。

問 歩道の確保は十分か。

市長 十分とは言えない。少しずつ実施中だ。

問 歩行者と自動車等との距離はどうか。

市長 幹線道路は分離対策が進行中。通学路はグリーンベルトを施している。その他生活道では十分ではなく、幅員改良等行いたい。

問 道路整備は未来への投資であり、福祉政策であると私は考えているが、将来の自動運転を見込み、自動運転が可能な場所までの安全な移動手段としてシニアカー等のモビリティが安全に往来できるよう整備を行うべきと思うが見解はどうか。

市長 我々が自動運転の先駆者となれるような視野を含みながら気を付けていく。

問 自治会をDX化していくことに対して助成するのはどうか

答 助成は行っていく。どうやっていくかは議会と相談していく



太田 善介

西部地域の保育・教育環境について

問 人的リソースの割り振りについてはどうか。

市長 人的リソース、財政だけでは幼稚園を語ってはいけないと思うが、時期が来れば決断しなければならない。

問 地元要望としてどのような意見が出ているか。大人のエゴを子どもに押し付けているのではないか。

市長 幼稚園を存続させていくというのはエゴではないと思う。

教育長 幼稚園を存続させたいと考えている。

問 西部地域での民間主導の園の統廃合についての考えはないか。

市長 様々なやり方があると思う。存続不能になった場合は、考えていきたい。

自治会のDX化について

問 市として自治会DX推進の考えはどうか。

市長 自治会DX化はできることからやっていきたいと考えている。

令和7年2月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with columns: 番号, 件名, 結果. Lists various council resolutions and their outcomes.

令和7年2月定例総社市議会 賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

Table showing approval status for council resolutions by council member. Columns include 議員名 and 議決結果.

(凡例) ○:賛成 ×:賛成でない 退:退出 欠:欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 村木理英議員は、議長のため採決には加わりません。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいていきます。QRコードを読み取る各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

問 新庁舎の外観に市の色である総社グリーンが使用されていないのはなぜか

答 基本設計とデザインは業者に依頼した時点で色調は決定していた



加藤 保博

問 市内小中学校の体育館へ移動式空調設備を設置してはどうか

答 それと合わせて通常のエアコン設置も財政面と相談しながら考えていく



山名 正晃

市長の政治姿勢について

問 新庁舎の完成予想図の時点で総社市の色が使用されていない、黒い外観の一部にシンボルカラーの総社グリーンを使うべきと提案したのは令和3年11月議会である。しかし残念ながら反映されることもなく完成に至った。感想はどうか。

市長 最上部に総社グリーンの色を取り付けている。

問 当時の答弁は「総社市の色として総社グリーンの定義付けも考えたい。また議会とも相談し新庁舎にも使いたい」と非常に前向きな印象であった。新庁舎建設の施主は総社市である。色調が決まっていたとはいえ、私が提案したのは建設前の令和3年である。その間に施主の希望で多少の変更は可能であったはずだ。当初から取り組む気はなかったと思えるがどうか。

市長 結果として取り入れなかったことに深くお詫びを申し上げる。

問 市長の議会答弁には責任が伴うが、この件については議会への相談は一切なく、答弁との整合性が感じられない。市長はもちろんであるが、執行部に対しても答弁に沿った議会対応を強く求めるがどうか。

市長 今後は答弁に慎重を期していく。この度の件はお許し願いたい。

維新幼稚園／小学校の跡地について

問 跡地について、その後の動きはどうか。

市長 岡山県森林組合連合会の話は、地元賛同も得られずなくなった。今後は公募型プロポーザル方式も含めて検討していく。

市民の安全について

問 自転車保険が自動車保険の特約や付帯でも適用可能なことなど啓発してはどうか。

市長 ヘルメット着用推進と共に啓発する。

問 明治33年からある未成年者喫煙禁止法では、止めなかった親権者への料料や書類送検、販売業者への罰金があり、大人が正しい知識を持ち子どもたちへ啓発してはどうか。

市長 小学生の喫煙もあるという事実から学校・地域・親・行政が一体となり、徹底的にやっていかなければならないと痛感した。

教育長 今までその部分に重点をおいていなかったの、今後は周知をしていきたい。

問 昨年12月にリニューアルした石原公園の遊具にタバコの焼け跡、ロープが切られる事案が発生した。防犯カメラ設置や市の公園条例に5万円以下の料料に処するという含めた注意喚起をするべきではないか。

市長 防犯カメラは設置方向である。未来を担う子どもたち、障がいある子どもたちのため、市民の税金でつくった公園、砂場にガラスを撒き散らしたりする行為は断固として阻止する、という強い気持ちを持っている。

問 新庁舎への移転に伴い不要となった備品を、市民へ譲渡する考えはあるか

答 不要になった備品は、譲渡制度を設け、多くの方に活用してもらいたい



山田 雅徳

問 備品の譲渡はどのような実施予定か。

市長 今のところ、6月下旬に学校や公民館など公共施設を対象に備品を入れ替える。7月中旬に市内の公共的団体、市民、事業所などを対象に譲渡会を実施する予定である。

耐震化の促進について

問 耐震診断・耐震改修をさらに促進するためにも申請者の負担軽減につながる「代理受領制度」を本市でも取り入れてはどうか。



市長 耐震診断・耐震改修のどちらの手続きにも「代理受領制度」を取り入れたい。

問 耐震改修の補助制度の対象を従来の旧耐震住宅だけでなく新耐震住宅(昭和56年6月～平成12年5月)まで拡充にしては。

市長 南海トラフ地震から市民を守るためにも新耐震住宅まで補助の対象を拡充する。

町内会の負担軽減に向けた施策について

問 町内会の法的立場を明確にし、加入促進と負担の公平化を進める施策を講じるべき。

市長 協働を推進する条例を検討したい。

問 ボランティアの活動拠点が必要だと思うがどうか

答 新庁舎内の会議室か、適当な部屋を検討する



頓宮 美津子

市民提案型事業について

問 市民(提案者)と民間の力を借りて市民提案協働事業として一新してはどうか。

市長 とてもいいと思うので、一歩先を目指して、制度の変更も含めて変えていければいいと思う。

公民館について

問 東西の公民館には、親子が本を読んだり、遊んだり、小中学生が学べるスペースがない。どちらも建て替え時期が近いが、そのときには子育て王国にふさわしいようなスペースを考えて作るべきと思うがどうか。

市長・教育長 財政のこともあるが、やっていこうと思う。

保育料について

問 0歳から2歳児の保育料について、市独自で認可保育所のみ、条件付きで助成をしている。不公平だと思うがどうか。行政報告の中に認可外保育施設に予算を増やしたとあったがどうか。

市長 令和7年度予算に、認可外保育施設に対して、環境整備などに予算(2522万円)を計上しているが、少なすぎたと感じている。その範囲の中で、続けられるように、更にはお子さんに対しても不公平のない内容にしていきたいと思います。



（一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。）※QRコードを読み取る各議員の一般質問の録面放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

（一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。）※QRコードを読み取る各議員の一般質問の録面放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

問 消防団員確保のために、業務や研修等の見直しを図るべきではないか

答 操法訓練大会などの在り方を、どこまで取り組むか協議する時期に入っている



荒木将之介

問 消防の意義は何だと考えるか。

市長 市民の安全、安心、生命、財産を守る最も大事な組織だ。

問 緊急時に活動できる車両の導入や資機材の軽量化は進んでいるか。

消防長 災害対応力の強化など目的とし、計画的に進めている。

問 緊急車両の進入が困難な場所があると思うが、そうした場所の把握はできているか。

消防長 進入困難な場所は一定数ある。また道路工事に伴う通行止めなどの情報は、指令台に入力し出動隊に知らせている。

問 進入困難な場所へはどうアクセスするのか。またそのための訓練は行っているか。

消防長 車両は広いスペースに停め、隊員のみが入っていく。またあらゆる状況下を想定し、日常的に訓練を実施している。

問 消防団の意義や必要性をどう考えるか。

市長 いざというときには全てを投げ打って集合し市民の財産、生命、安心を守り、地域活動にも大いなる貢献をしている集団だ。

問 団員減少の理由になっているかもしれない現在の業務や研修では、必要なスキルは身につけていないと考える。団員確保のため業務や研修の見直しを図るべきではないか。

消防長 団員のサラリーマン化が進み、訓練・研修に出る時間が少ないのも事実だ。時代に即した見直しを進めていきたい。

問 家庭用AED(自動体外式除細動器)の助成をしてはどうか

答 市民の安心度が増すので考えさせていただく



小野耕作

市内における救急体制について

問 市内のAEDの設置台数はいくらか。また24時間対応できる施設は何箇所あるか。

消防長 市内に155か所163台あり、24時間対応は17か所設置している。

問 これを多いと感じるか、少ないと感じるか。

市長 少ないと感じる。

問 ホームページでのAEDの設置場所の検索がわかりにくい、改善できないか。

消防長 利便性向上に努めていく。

市長 可能な限りやりたい。

問 使用済みパッドを回収してはどうか。

消防長 消防署に一報いただければ回収する。

消防署南出張所の設置について

問 消防署南出張所を早期に設置すべきではないか。

市長 やるべき課題と認識している。

家庭用AED(自動体外式除細動器)



株式会社ヤガミから引用

問 技術職員の採用はどうか

答 土木職は足りない



萱野哲也

問 学生には、公務員の仕事の見える化、キャリアパスを示す必要がある。公務員になって、「こうしたら、副市長になれるんだよ」みたいなもの示す必要がある。積極性・向上心のある技術職員の採用に取り組んでほしい。

市長 職員の育成を考えたなら、1次試験で「金の卵」を不合格にしない、「逸材」を見つける試験形態にしていかななくてはならない。

保健福祉部の人員配置について

問 生活保護を担当する職員(査察指導員1名・ケースワーカー5名)は社会福祉主事の資格が必要だ。6人中3人が無資格者であるが、業務上支障はないのか。

市長 この環境の中で支障なく業務を行っている。

問 査察指導員はケースワーカーを指導する立場であるが、資格を有していない。こうした人事は問題ないか。

市長 これまでの人事を再考しなければならない。有資格者を増やしていく。

問 これらの対策はどうか。

市長 土木技術職員、生活保護担当の職員など、専門職が足りない部分を一般職でカバーしオール総社で対応していく。

問 小規模小学校の在り方についてどのように認識しているのか

答 学校運営協議会で統合や義務教育学校化も議題にしていく



三上周治

自治会・町内会について

問 自治会・町内会が地域社会において果たす役割をどのように認識しているのか。

市長 昨今、重層型支援で地域を地域で守らざるを得ない状況になっている。

問 自治会・町内会活動の活性化や若年層の参加促進のため、市として新たな施策を検討する考えはあるか。

市長 スマホを中心とした、SNS・LINEなどの活用が、町内会活動でも若年化を促進するため有効活用されている。今後も研修会など啓発活動を行っていく。

小規模小学校の将来の在り方について

問 複式学級の課題解決に向けた新たな施策を検討しているか。

教育長 まずは、わたり授業の解消。しかし、わたり授業になった場合効果的指導について研究。また、地域の協力で複式学級にならない努力をする。

問 児童数が減少している現状をどのように認識しているか。

市長 由々しき事態で子どもが増えていく環境を全庁挙げて取り組まねばならない。

問 小規模小学校の統廃合について。

市長 今は再編よりも存続させる議論を優先させたい。



熊進 仁

問 米価格が高騰している中、国政に翻弄されている農家を守る思いはあるか

答 高齢化の中、頑張っている農家の生き残りを賭けて闘っていく考えだ

市長の選挙公約について

問 救急病院2病院への助成金約20億円は医療機器や設備に対して行っているが、最も重要なのは優秀な人材を確保することではないか。

市長 これ以上に助成することはないと思うが、足りないところは伸ばしていき総社市民が、任せられる病院になるよう頑張ってもらいたいと願います。

問 老人医療の在宅介護で最も重要なものは何と思うか。

市長 色々あると思うが、在宅支援を必要としている人は2430人いらっしゃる。すでに行っている施策を継続しながら、必要な支援を考えていきたい。

問 在宅支援に従事する方々への支援なくして在宅介護は成り立たないと思うが、市長の考えはどうか。

市長 在宅支援のマンパワーは必要だ。これからも頑張っていただけをお願いしていきたい。

維新小学校、幼稚園の跡地利用について

問 廃校が決まって2年、地元の方々は悩まれてきた。市側が期限を設けて早急に対応していくべきではないか。

市長 プロポーザル方式であるとか、市が答えを出す時が来ていると思う。地元の意見も聞きながら対応していく。



岡崎 亨一

問 受援体制のためにも大型の備蓄倉庫を建設する考えはどうか

答 財政を見ながら、建設するようにしたい

避難所の設備について

問 小中学校の体育館へのテレビジャック設置はどうか。

市長 令和7年度にすべての小中学校へ設置できる。

問 小中学校の体育館のトイレの多目的化はどうか。

市長 財政を考えながら、残り4校は前向きに考えたい。

高齢者の交通事故について

問 高齢者の免許返納の考えはどうか。

市長 返納が望ましいが、代わりになる交通手段を考えるのが自治体の役目と思う。

問 運転脳を鍛えるという知見についてどのように考えるか。

市長 運転において、認識→判断→操作が重要と思うので、その知見は大事だと思う。

問 運転脳を活性化させるグーパー体操やスポーツ(卓球)を推奨する考えはどうか。

市長 是非、推奨していきたい。

「グーパー足踏み体操」のやり方

「運転脳」を活性化させる「グーパー足踏み体操」

右腕と左腕の形を足踏みのリズムに合わせて入れ替える。それを8回くり返す。

前に振るタイミングで真っすぐ突き出したほうの手を「クー」に、もう片方の手は「パー」の形にして、手と反対の脚に当てる。

椅子に膝掛け、その場で軽く脚を振りながら交互に足踏みする。

この後、約10秒の小休止を挟み、体の前に伸ばした手の形を「クー」に、前に振るリズムに合わせて入れ替える(①②③くり返す)。さらに約10秒の小休止を挟み、「クー」「パー」の組み合わせでこれを1セット完了!

運転脳を活性化させる「グーパー足踏み体操」

総務生活委員会

《2月定例会》

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案12件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は採択)

● 総社市空家等の対策の推進に関する条例の一部改正について(議案第2号)

問 市内にもすぐに解体、撤去等対応すべきと思われるような危険な状態の空き家が増えてきている。管理不全空家等に対する罰則規定は設けられていないが、市として何か対応できないか。

答 所有者に対する責務が強化されたことにより、管理あるいは利活用、除却等に関する市の施策に協力してもらうよう促していく。また、空き家の所有者アンケート調査などの予算もこの度計上しており、そういったものも活用しながら対応していきたい。

● 令和6年度総社市一般会計補正予算(第9号)(議案第19号)(所管部分)

問 災害対策としてトイレカーの購入について、普段はどのような使い方をする予定か。

答 交付金を活用して整備しようとするものであるが、本交付金の適用要件の中に、交付金で導入した機械類については周知をしていくことが義務付けられている。本市では年間16回の防災訓練を行っており、その訓練で市民に周知等していくことを想定している。また、その他大きなイベント等での活用を考えている。仮設トイレとして常設する使用方法も考えられるが、防災訓練等で活用をする際に、従来あった場所にトイレがないということになってしまったら、そのあたりは現在検討中である。

(議案第24号)(所管部分)

問 旧市成市営住宅を解体し、公用車駐車場として整備した場合、何台分駐車できる見込みか。

答 60台程度駐車スペースが確保できる見込みである。



問 服部駅前トイレ設置設計委託料について、JR西日本と市との役割分担等の考え方についてはどうなっているのか。また他の駅舎についてはどうなるのか。

答 JR西日本の基本的な考え方としては、1日の平均乗降者数が概ね3千人未満の駅については駅舎の簡素化、トイレの撤去といったものを経費削減の観点から進めていることとしている。本市の総社駅と清音駅を除く5駅がその基準を満たさず、将来的には駅

調査事項

● 新生活交通「雪舟くん」の車両不具合について

● 第2次総社市総合計画後期基本計画の評価・検証について(市民満足度調査結果及び重要業績評価指数(KPI)の進捗状況)

● 空家等活用促進区域の設定について

● セグメント配信の開始について

● 令和7年度機構改革について

● 新庁舎建設工事の進捗及び今後について

● 消防通信指令システムの進捗状況について

文教福祉委員会

《2月定例会》

当委員会では審査した案件は、2月定例会では議案13件であり、すべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

● 総社市人材育成山本あすなる基金条例の制定について
(議案第11号)

問 具体的にどのような事業に充てるのか。

答 寄附者の御意向として、将来を担う人材が育成されることを望まれている。具体的には、学力や学習意欲のある若者で家庭の経済的な理由で大学進学を諦めてしまう方に対して、学びの機会の提供の支援をすることとして、給付型の奨学金制度を実施してほしいという御意向である。



● 令和6年度総社市一般会計補正予算(第9号)(議案第19号)(所管部分)

問 清音福祉センターの空調設備が線越となっているが、その理由と、完成の用途はいつか。

答 空調設備が受注生産のため、作成に相当日数を要している。完成すれば設置自体は2週間程度で完了するので、なるべく早く設置できるように工程管理していく。

■ 一般会計予算審査特別委員会文教福祉分科会

◎ 令和7年度一般会計予算(議案第24号)(所管部分)

問 そうじゃ吉備路マラソン大会共催負担金について、議会事務事業評価では『事業内容を直直の上縮小、予算規模を縮小』と提言しているが、前年度と同規模になっている。議会軽視ではないか。

答 議会事務事業評価については重く受け止めている。当初予算に反映できていないが、

4月以降の実行委員会において報告し、事務局として改正案を作成し諮らうと考えている。種目など規模がどこまで縮小できるか検討、協議していく。

問 都市児童健全育成事業で、令和8年度から12年度までの債務負担行為が設定されているが、この限度額の根拠は何か。また、指定管理を前提とした予算なのか。

答 令和7年度の国からの補助金額を基に1年間の金額を算出し、それを根拠に算定している。また、令和8年度からの運営方法はまだ決まっていない。今は令和7年度をベースとしているが、もちろん違う方法になった場合にはそれに合わせた補正予算など調整していきたい。

◆ 2月定例会委員会で所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

- 調査事項
 - ・ 小・中学校のプール施設に



- 放課後児童クラブについて
 - 児童発達支援・放課後等デイサービスについて
- 【報告事項】
- 2025そうじゃ吉備路マラソンについて
 - いのち支える総社市自殺対策推進計画(第2次)の策定について
 - 健康そうじゃ21(第2次)の策定について
 - 病院施設整備補助金について(薬師寺慈恵病院)
 - 総社市こども計画の策定について
 - 部活動の地域移行について
 - 民間認可保育所の設置等について

産業建設委員会

《2月定例会》

当委員会では審査した案件は、2月定例会では議案14件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は趣旨採択) 主な内容は次のとおりです。

● 総社市手数料条例の一部改正について(議案第15号)

問 この手数料は各自治体で決めるものか。また、他市との比較はどうか。

答 岡山県の手数料を参考にしており、県とほぼ同額になるように改正している。他市の状況も確認しているが、ほぼ同額になる予定である。

● 総社市営墓地条例の一部改正について(議案第17号)

問 管理料の廃止について、どのような検討がされたのか。

答 現在対象の墓地を利用している方からは、他の墓地と同様に永代使用料を徴収した上で管理料も徴収している状況にあるため、合併20周年に

当たり不均衡を是正するに至った。

問 管理料の徴収廃止により、サービス低下等の影響はないか。

答 トイレの清掃や除草・剪定といった維持管理は今までどおり行っていく。

■ 一般会計予算審査特別委員会産業建設分科会

◎ 令和7年度一般会計予算(議案第24号)(所管部分)

問 岡山県広域企業団出資金について、かなり増額されているが何か特別な事業を実施する予定があるのか。

答 岡山県広域企業団がら過池2か所の工事を予定しており、高梁川水系に関わる団体に費用負担する経費である。

問 多面的機能支払事業補助金について、3地区が対象になっているが、どういった条件で選ばれたのか。

答 水源涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等を目的に農地等の維持管理を行う

一般会計予算審査特別委員会

各分科会において令和7年度一般会計予算(議案第24号)の審査が行われ、各分科会委員長から審査経過について報告されました。

委員長報告の後、委員から、史跡作山古墳調査活用事業を削除しようとするもので、同事業予算の全額を減額して、修正しようとする修正案が提出されましたが、質疑、討論もなく、修正案について起立採決の結果、起立少数により本修正案は否決されました。

次に、原案について起立採決の結果、起立多数により、原案を可決すべきであると決定しました。

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[令和6年12月～令和7年2月分]

(単位：円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
議長賞	12/4	32,000	総社市長杯卓球大会
土産等	1/20	6,324	行政視察先(議会運営委員会)
4月からの累計		129,983	

議員向けハラスメント防止研修を 開催しました。



令和7年2月14日に、講師に一般社団法人日本経営協会・特定社会保険労務士・行政書士の山口貞利氏をお呼びして、議員向けハラスメント防止研修(いろいろなハラスメントとその予防)を開催し、議員22名が4つのグループに分かれ、グループディスカッション形式で行いました。

内容としては
1. ハラスメントとは
2. ハラスメントの実態
3. ハラスメントリスク
4. 特に問題になりやすいもの
5. パワハラの基礎知識と類型
6. パワハラの事例
7. パワハラ防止法と自治体議員条例

という項目で説明を受けました。ハラスメントとは、嫌がらせや人権侵害、一方的な価値観の押しつけのことであり、加害者の悪意や悪気の有無は関係ないそうです。

ハラスメントの種類として、
①相手の意に反する性的言動や行為であるセクシャルハラスメント(セクハラ)、②性別を理由とする差別や嫌がらせ、不当な行為であるジェンダー・ハラ
メント、③妊娠や出産、育児を理由に働く女性が嫌がらせ、不当な行為を受けるマタニティハラスメント、④働きながら介護をする人に対して嫌がらせや不利益を与える行為であるケアハラスメント、⑤性的指向や性自認を理由に差別や嫌がらせを行う行為、または社会的な不利益を与える行為であるSOGIハラスメント、⑥職場内で職務上の地位や人間関係などの優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛

を与える行為であるパワハラメント(パワハラ)等があることを学びました。

一般的に全就業業者のうち34.5%が「過去にハラスメントを受けたことがある」と回答しているようで、わたしたちの知っている過去の常識は、今の非常識であるとしきりに言われています。



ハラスメントを防止するためには、地方議会や議員の場合は自治体の要綱や規程等に定められており、政治倫理条例で規定する政治倫理基準において定められている場合が多いようですが、我が市も現在策定に向けて検討中です。

(太田 善介)

編集後記

4月の半ばでありましたが、初夏の風が漂って来ましたが、少し前まで肌寒い季節でしたが、やっと冬物をクリーニングに出しました。

総社市役所はこの度新庁舎に生まれ変わり、議会棟も和をモチーフとしたデザインであたたかみを感じられます。

また、3市村合併20周年を迎えて新たな総社市の門出となります。

議会だよりも広聴広報委員会の取材活動として、議会活動、多くの市民の声を聴き、より良い魅力ある情報を伝えていきたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。(森安 健一)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 高谷 幸男
- 副委員長 荒木将之介
- 委員 山名 正晃
- 委員 太田 善介
- 委員 森安 健一
- 委員 仁熊 進
- 委員 岡崎 亨一

